

日本選挙学会 2001年度第3回理事会議事録

日 時：12月1日(土) 午後2時00分～
場 所：東京大学 法文1号館2階法学部会議室

議 題：
(前回議事録の回覧)

1. 各委員会の活動状況について(各委員長)

企画委員会(配布資料参照)

砂田企画委員長から、来年度の研究会企画に関して以下の報告があった。

- ・構成上の特徴として、従来の自由論題を取りやめ分科会としたこと
- ・小泉現象を様々な角度から分析するため、複数の分科会を設置したこと。
- ・長期的視野に基づいた日本政治分析として、構造改革と選挙に関し問題提起する共通論題を設置したこと。

以上の企画案に関する報告の後、理事会は企画の最終確定については、企画委員会に一任した。

年報編集委員会

池田年報編集委員から、以下のような報告があった。

a)2002年2月に発行予定の『選挙研究』第17号について

- ・編集作業はほぼ終了したこと。
- ・奥付に科研費からの補助金110万円を明記すること。
- ・最終的に本号の構成は、2つの特集(論文5本)、その他の依頼・投稿論文6本、研究ノート1本、資料1本、書評15本。

b)平成14年度の科研費申請について

- ・もし助成が得られたら表紙を多色刷りに、定価を3千円から3千5百円に変更する予定であること。

c)審査プロセスの変更について

- ・電子メールを活用すること。
- ・執筆要領の周知徹底を図ること。

文献委員会

和田文献委員から、本年6月に発行した文献目録について以下のような報告があった。

- ・業績のコード番号化
- ・表紙の誤植の訂正

1999 - 2001 1999 - 2000

なおこの件については、本年12月発行の『ニュース・レター』第24号にて、会員に通知する予定。

選挙管理委員会

中邨選挙管理委員長より、以下のように2001年11月10日に締め切られた理事選挙の開票結果が報告された。

| | |
|---------|--------------|
| 投票用紙発送数 | 275通 |
| 着信郵送投票数 | 166通(うち無効8通) |
| 有効投票数 | 158通 |
| 総有効投票数 | 1210 |

投票率 60.4% (前回68.4%から8ポイント減)

2. 2002 - 2003年度理事候補について (配布資料参照)

- ・2001年11月10日に締め切られた理事選挙の結果、下記の16会員が推薦理事候補として選出されたことが報告された (アイエI順)。

浅野和生 (平成国際大学)、荒木義修 (松坂大学)、池田謙一 (東京大学)、石田榮仁郎 (近畿大学)、岩淵美克 (日本大学)、内川正夫 (武蔵野女子大学)、加藤秀治郎 (東洋大学)、川戸恵子 (東京放送)、桑原英明 (常磐大学)、神江伸介 (香川大学)、小林良彰 (慶應義塾大学)、田中愛治 (早稲田大学)、谷聖美 (岡山大学)、中野邦観 (読売新聞)、中邨章 (明治大学)、和田寛伸 (秋田経済法科大学)

3. 2002年度総会・研究会の開催について (新大会運営委員長)

- ・使用会場が東京大学法文1号館であること、懇親会の準備状況等が報告された。

4. 入会申し込み者・退会希望者の承認について

- ・以下の4名の入会を承認した。

塩沢健一、清水克敏、高野徳博、福元健太郎

- ・以下の1名の自己都合による退会を承認した。

下村有佳

- ・上記の異動と7月に死去された中野実会員を除いて、現在会員数は501名 (うち法人会員1社、休会5名含む) となった。

5. 日本学術会議関係

平成14年度代表派遣について

- ・芹澤功会員 (日本学術会議会員) を、昨年と同様に第25回国際政治心理学会 (2002年7月、ドイツ・ベルリン市で開催) へ派遣するべく推薦書類を学術会議へ提出したことが事務局長より報告された。

その他

- ・ノーベル賞100周年記念国際フォーラム開催にあたって、本学会から1万円を寄付することが承認された。
- ・学術会議から要請のあった学術会議ホーム・ページと、本学会のホーム・ページとの相互リンクを承認した。

6. その他

『ニュース・レター』第24号について

- ・『ニュース・レター』第24号の編集作業について事務局長から、順調に進行中で12月中旬には、発行できる予定であることが報告された。

会費の納入状況について

- ・12月1日現在の会費納入率は、303/494 (休会5名を除いた数字) = 61.3%であることが、河野事務局長より報告された。

その他

- ・次回第4回理事会を、平成14年3月9日 (土) 午後2時より、東京大学で開催することとした。

以上

出席者) 蒲島理事長、荒木、池田、岩崎、川戸、神江、小林、砂田、田中、谷、中邨、和田の各理事、水崎監事、及び河野事務局長、河崎、堤の各幹事、今井、中條の各監事補佐、芹澤学術会議会員。